

資料番号	2
------	---

令和6年6月28日
課名 商工労働局経営革新課
担当者 担当課長 森川
内線 3460

広島県経済の動向

令和6年6月28日

商 工 労 働 局

目 次

1	経済動向の概要	1
	（1）国内経済の動向	
	（2）広島県経済の動向	
2	県内主要製造業の生産動向	3
	（1）鉄鋼	
	（2）自動車	
	（3）造船	
	（4）一般機械	
	（5）電気機械	
3	県内小売業等の動向	5
	（1）百貨店・スーパー	
	（2）宿泊・飲食サービス	
	（3）観光	
4	中小企業の動向	7
	（1）概況	
	（2）景況感・景況感の変化	
	（3）前月から変化のあった主な業種	
5	企業倒産状況	9
	（1）概況	
	（2）業種別	
	（3）原因別	
	（4）今後の見通し	
6	最近の雇用失業情勢	10
	（1）県内の有効求人・求職の動向	
	（2）県内の新規求人・求職の動向	
	（3）県内の人員整理の状況	
	（4）完全失業率の状況（全国・県内）	

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

1 経済動向の概要

(1) 国内経済の動向

ア 概要

指 標	R 6年		
	3月	4月	5月
基調判断	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している		
輸 出	持ち直しの動きに足踏みがみられる		
生 産	持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している	一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、生産活動が低下していたが、このところ持ち直しの動きがみられる	
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる		
住宅建設	弱含んでいる		
消費者物価	緩やかに上昇している		
企業収益	総じてみれば改善している		

イ 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和6年5月27日公表)】

(2) 広島県経済の動向

ア 概要

指 標	R 6年		
	3月	4月	5月
基調判断	緩やかな回復基調にある		
輸 出	横ばい圏内の動きとなっている		
生 産	横ばい圏内の動きとなっている		
設備投資	増加している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	緩やかに回復している	緩やかな回復基調にある	
住宅投資	弱めの動きとなっている		
消費者物価 (除く生鮮食品、広島市)	前年を上回っている		

イ 県内の経済の先行き

先行きの景気は、緩やかな回復が続くことが期待されるが、海外経済の動向や物価動向などが県内の経済金融情勢および回復のペースに与える影響を一層注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和6年6月7日公表)】

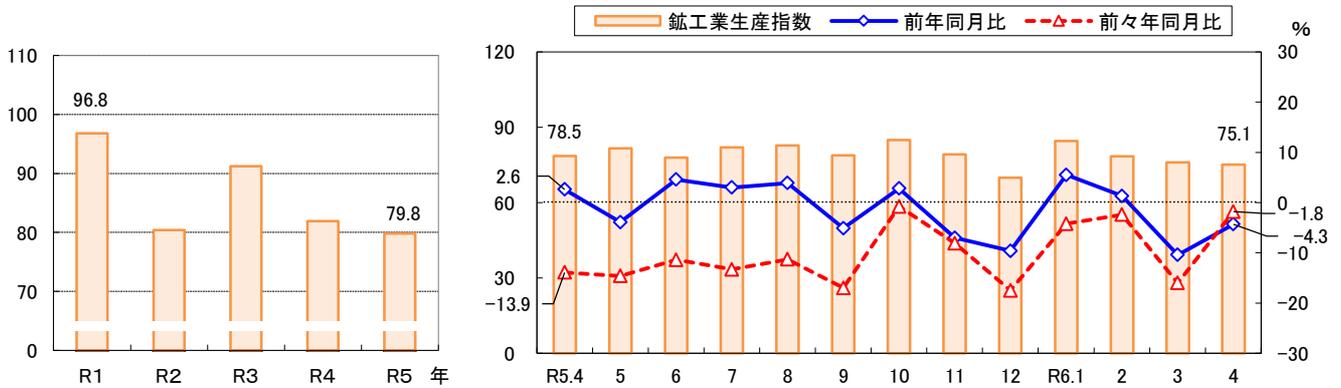
2 県内主要製造業の生産動向

(1) 鉄鋼（令和6年4月）

4月の鉄工業生産指数（鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年＝100）は75.1で、前年同月比で4.3%減少、前々年同月比で1.8%減少となっている。

鉄工業生産指数（鉄鋼業）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【県統計課】

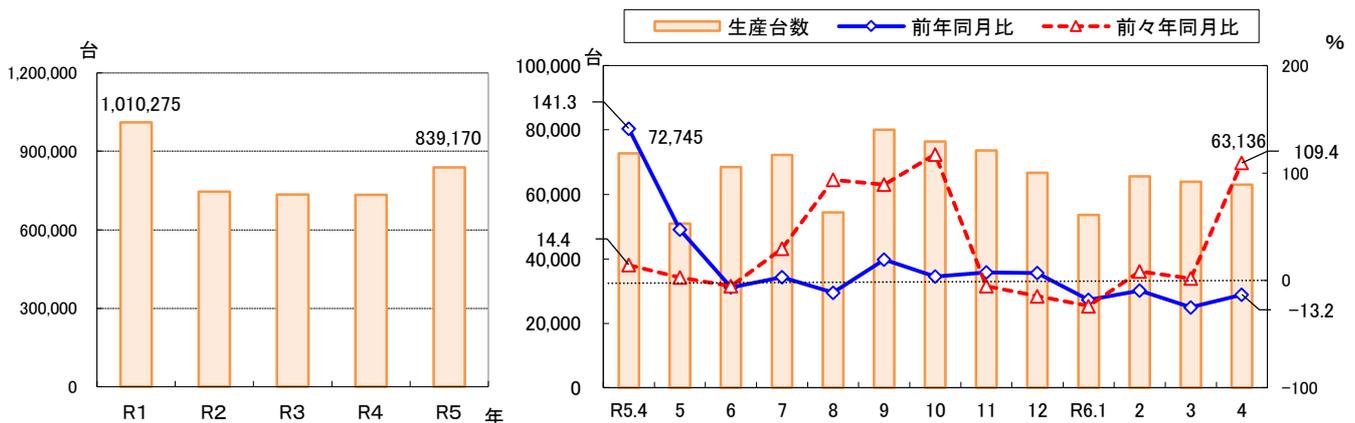


(2) 自動車（令和6年4月）

4月の国内生産台数は63,136台で、前年同月比で13.2%減少、前々年同月比で109.4%増加となっている。

自動車生産台数（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【マツダ（株）】

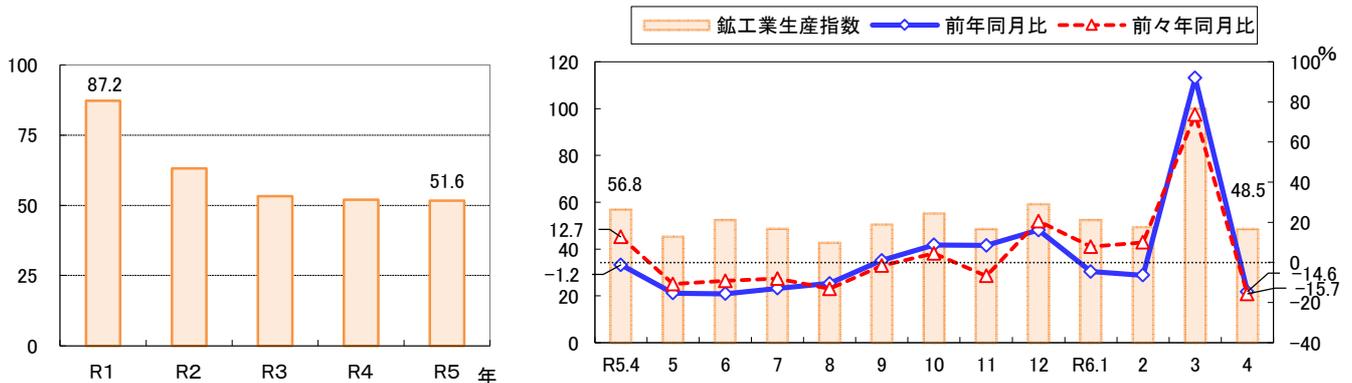


(3) 造船（令和6年4月）

4月の鉄工業生産指数（造船部門、原指数、速報値、平成27年＝100）は48.5で、前年同月比で14.6%減少、前々年同月比で15.7%減少となっている。

鉄工業生産指数（造船部門）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【県統計課】

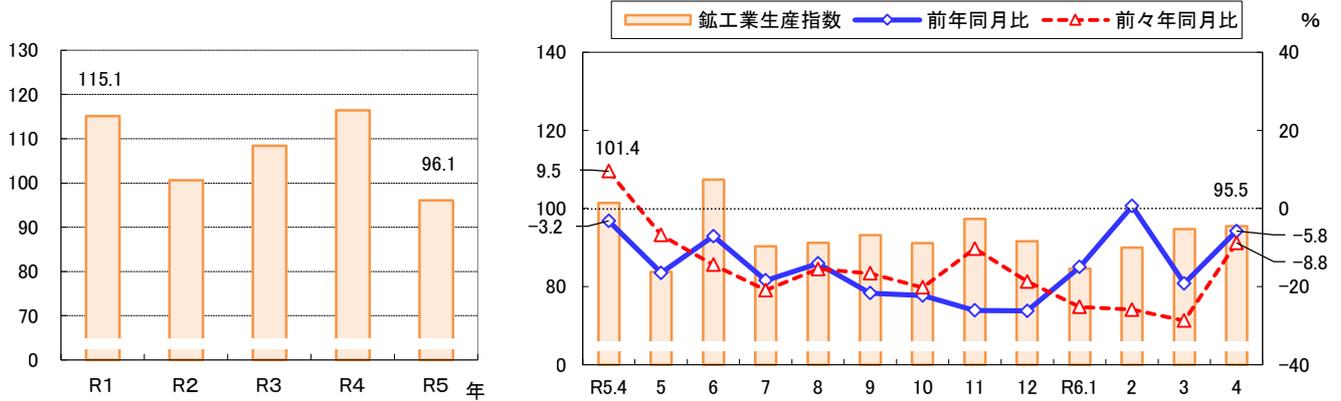


※造船部門に含まれる鋼船修理は、工事終了時での報告に依拠しており、令和6年3月において、生産指数の大幅上昇に寄与していた。

(4) 一般機械（令和6年4月）

4月の鉱工業生産指数（一般機械工業（総合））、原指数、速報値、平成27年=100は95.5で、前年同月比で5.8%減少、前々年同月比で8.8%減少となっている。

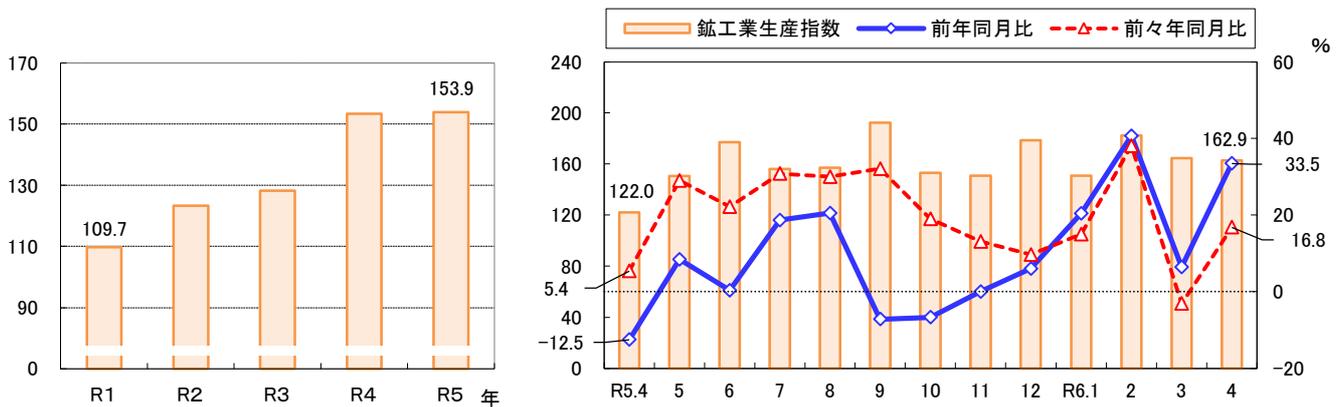
鉱工業生産指数（一般機械（総合））（年別、月別・前年同月比・前々年同月比） 【県統計課】



(5) 電気機械（令和6年4月）

4月の鉱工業生産指数（電気機械工業（総合））、原指数、速報値、平成27年=100は162.9で、前年同月比33.5%増加、前々年同月比で16.8%増加となっている。

鉱工業生産指数（電気機械工業（総合））（年別、月別・前年同月比・前々年同月比） 【県統計課】

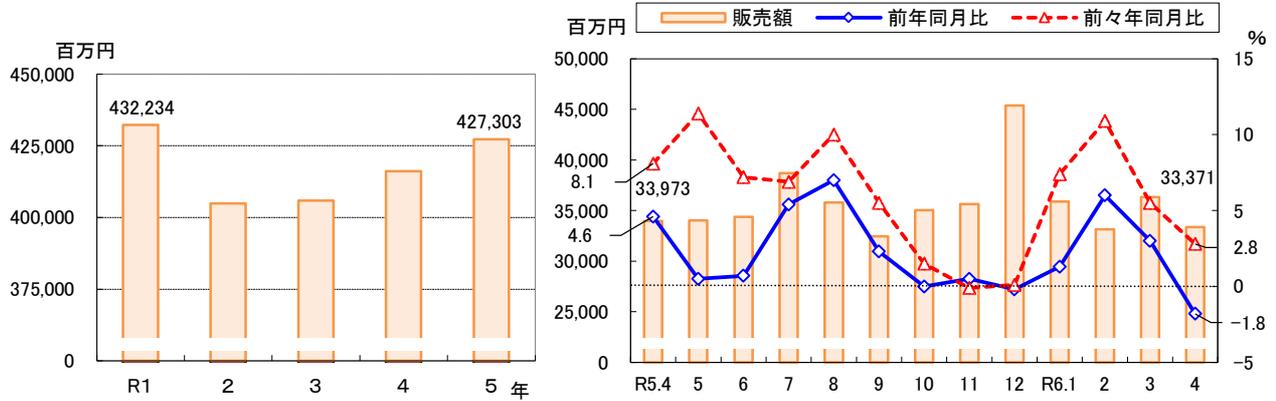


3 県内小売業等の動向

(1) 百貨店・スーパー（令和6年4月）

広島県の4月の販売額は、33,371百万円（速報値）で全店舗前年同月比で1.8%減少、前々年同月比2.8%増加となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向（広島県）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）【中国経済産業局】



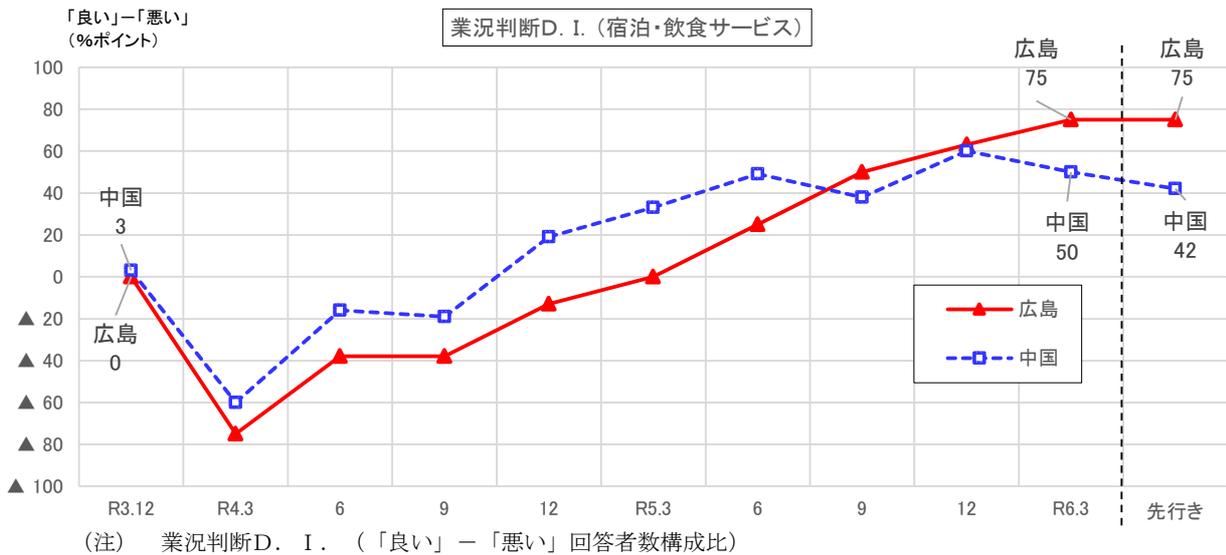
(2) 宿泊・飲食サービス（令和6年3月）

広島県の3月の業種別業況判断D. I.（宿泊・飲食サービス）は、75%ポイントと前回調査時より12%ポイント改善している。

（「良い」－「悪い」、%ポイント）

調査月	令和5年9月	令和5年12月	令和6年3月	
			最近	先行き
業況判断D. I. (変化幅)	50 (+25)	63 (+13)	75 (+12)	75 (±0)

【日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果の概要」（令和6年4月1日公表）】



(3) 観光

ア 宿泊者数（令和6年3月）

直近の数値である、令和6年3月の宿泊者数は109.4万人で、前年同月と比べ13.3万人泊増（+14%）で、コロナ前の令和元年同月と比べて7.6万人泊増（+7%）となった。また、外国人宿泊者数についても3月は19.9万人で、令和元年同月と比べて8.3万人泊増（+71%）と大幅に増加した。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-3月計	
広島県	宿泊者数	74.6	80.6	109.4	発表前									264.6	
	R5年宿泊者数	70.4	68.3	96.1	94.6	106.2	81.8	90.3	111.9	92.1	103.2	108.6	88.5	234.8	
	R5年比	106%	118%	114%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	113%	
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	253.4	
	R元年比	100%	105%	107%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	104%	
全国	宿泊者数	4,565	4,785	5,511	発表前									14,861	
	R5年比	116%	116%	109%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	113%	
外国人	広島県	外国人宿泊者数	7.3	8.4	19.9	発表前									35.6
		R元年宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	24.8
		R元年比	105%	136%	171%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	143%
	全国	外国人宿泊者数	1,124	1,152	1,298	発表前									3,574
	R元年比	122%	124%	136%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	128%	

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

R5年およびR6年は宿泊旅行統計調査の速報値で、R元年は、確定値を反映。

R5年の宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

イ 県内主要観光施設の観光客数（令和6年4月）

2月～4月は、春の旅行シーズンに伴う外出機運の高まりや、円安等の影響による外国人観光客の堅調な増加などにより、R元年同期水準を上回る施設が複数あるなど、観光客数は回復基調にある。

【各観光施設からの開取調査】

(単位：人)

観光施設	R元年			R5年			R6年			
	2月	3月	4月	2月	3月	4月	2月	3月	4月	
広島平和記念資料館		61,240	128,610	180,830	67,951	149,293	162,802	88,504	199,981	205,930
	R元年比	—	—	—	111%	116%	90%	145%	155%	114%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	130%	134%	126%
宮島来島者数		263,324	420,780	491,455	269,333	463,036	384,026	315,713	462,010	430,836
	R元年比	—	—	—	102%	110%	78%	120%	110%	88%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	117%	100%	112%
大和ミュージアム		50,317	77,507	80,697	38,700	70,662	52,925	64,174	73,896	58,973
	R元年比	—	—	—	77%	91%	66%	128%	95%	73%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	166%	105%	111%
道の駅たけはら		12,168	16,228	16,583	9,159	12,822	11,454	9,375	11,066	10,552
	R元年比	—	—	—	75%	79%	69%	77%	68%	64%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	102%	86%	92%
神楽門前湯治村（定期公演）		1,257	1,662	2,682	1,297	1,574	1,833	2,115	2,105	1,838
	R元年比	—	—	—	103%	95%	68%	168%	127%	69%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	163%	134%	100%
千光寺ロープウェイ		26,607	51,124	65,850	30,847	63,275	49,869	33,381	44,559	58,009
	R元年比	—	—	—	116%	124%	76%	125%	87%	88%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	108%	70%	116%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館		2,238	3,606	1,450	2,186	3,006	1,415	1,534	2,877	983
	R元年比	—	—	—	98%	83%	98%	69%	80%	68%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	70%	96%	69%
国営備北丘陵公園（千人）		8	19	46	11	26	41	11	19	41
	R元年比	—	—	—	131%	132%	90%	132%	99%	90%
	R5年比	—	—	—	—	—	—	101%	75%	100%

4 中小企業の動向（令和6年5月）

【広島県中小企業団体中央会（令和6年6月13日時点）】

（1）概況

一部の業種では景況の回復傾向が見られるが、県内の中小企業の多くは、原材料費の上昇などのコスト増加に伴う収益性の悪化や長期的に続く人手不足などが要因となり、依然として先行きの見通しが立たない厳しい状況が続いている。

自動車関連業種では、4月の国内自動車販売台数は前年同月比▲11.2%と4ヶ月連続で減少。マツダ車は▲30.6%と5ヶ月連続で減少した。

また、木材業界では、4月の全国新設住宅着工戸数は76,583戸で前年同月比+13.9%となり、11か月ぶりの増加。県内の4月の着工戸数は1,558戸で、前年同月比+19.0%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「4月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の4月分のデータに基づく

（2）景況感・景況感の変化

業種	4月の景況感	5月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	悪い
家具	やや悪い	普通
印刷	普通	やや好況
化学	普通	普通
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	やや悪い	やや悪い
鉄鋼（鋳物）	やや悪い	やや悪い
金属製品	普通	普通

業種	4月の景況感	5月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	普通	普通
自動車部品	やや悪い	やや悪い
造船	普通	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや好況	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

（単位：業種）

景況感	4月	5月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	7	6	▲1
やや悪い	12	12	0
悪い	0	1	1

(3) 前月（4月）から変化のあった主な業種

業種	4月の景況感	5月の景況感	変化の理由・状況
木材	やや悪い	悪い	先が見えない状況が続いており、このままでは業界内で倒産が増える可能性がある。 【福山木材協同組合】
一般機械器具	普通	やや悪い	工作機械受注総額（4月分）は、前年同月比▲9.0%となった。国内外で設備投資に対する企業の慎重姿勢が要因と考えられる。 【広島県東部機械金属工業協同組合】
トラック輸送	やや好況	やや悪い	・今年の1月頃から荷動きが悪い状態が続いていたが、先月から更に厳しくなり、全ての業種で荷動きが鈍化している。原材料の単価上昇などが影響している可能性がある。 ・荷主との交渉の結果、運賃が多少は上がったが、貨物輸送量が減少しているため、収益状況は悪化が続いている。 【松永地区トラック事業協同組合】

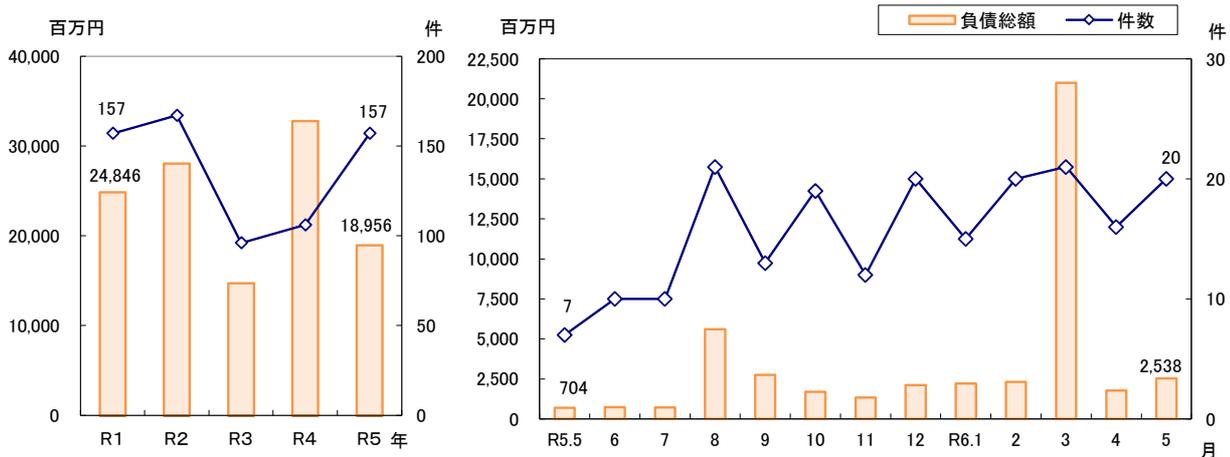
5 企業倒産状況（令和6年5月）

（1）概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が20件、総額25億3,800万円であった。
- ・前月比で件数は4件増加し、負債総額は7億6,200万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は13件増加し、負債総額は18億3,400万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生は1件あった。

区 分	令和6年3月	令和6年4月	令和6年5月
件 数 (前年同月比)	21件 (31.3%増)	16件 (100.0%増)	20件 (185.7%増)
負債総額 (前年同月比)	21,008百万円 (1,627.6%増)	1,776百万円 (157.8%増)	2,538百万円 (260.5%増)

企業倒産件数・負債総額（1,000万円以上）（年別、月別・前年同月比）



（2）業種別

件数は、卸・小売・飲食業が10件、サービス業が5件、建設業が4件、その他が1件となった。負債総額では、卸・小売・飲食業、その他、サービス業、建設業の順となった。

（3）原因別

原因別では、販売不振が18件、既往のシワ寄せが1件、その他が1件であった。

（4）今後の見通し

令和6年5月度の倒産件数は20件で、5月度としては平成24年5月ぶりの20件越えとなった。月間倒産件数は前年同月比を6ヶ月連続で上回るなど、増勢傾向が続いている。

業歴別倒産状況では30年以上が4件、20年以上30年未満が2件、10年以上20年未満が4件と業歴10年以上の倒産が全体の50.0%を占め、前月4月度では業歴10年以上の倒産が全体の75.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いていたが、5月度としては50%まで低下した。

原因別にみると販売不振が18件で最多となり、既往のシワ寄せは1件、売掛金回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は19件で全体の95.0%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は5月度20件中12件発生し、これまでの累計は234件（負債総額1,000万円以上かつ弁護士一任・準備中を含む）となり、このうちゼロゼロ融資を利用した企業は2件となっている。

令和6年に入り倒産件数は断続的に20件を超え、前年同月比を6ヶ月連続で上回るなど増勢傾向は続いており、コロナ禍を抜けても人手不足や原材料価格の高騰、新興国の台頭など、企業が抱える問題は多岐にわたる。こうした状況を背景に、既存企業・事業では新たな価値創造の機運が高まっているのかもしれない。

広島県内では建設業の倒産が目立っているが、新設法人数においても3年連続で前年比で減少が続いており、国内の人口減少に加え、原材料高などでコストが見合わなくなっていることが減少を加速させている可能性がある。

更に5月度としてはサービス業他の倒産が増加するなど、原材料や労務費、電気代などのコスト負担が一層顕著となっている。増加するコストをサービス価格に転嫁するためには競争力や商品力など企業の力が必須であり、力のない企業は利益確保が厳しい状況が続いている。こうした営業環境の厳しさは改善の目途が立っておらず、今後の倒産件数は引き続き増勢傾向が予想される。

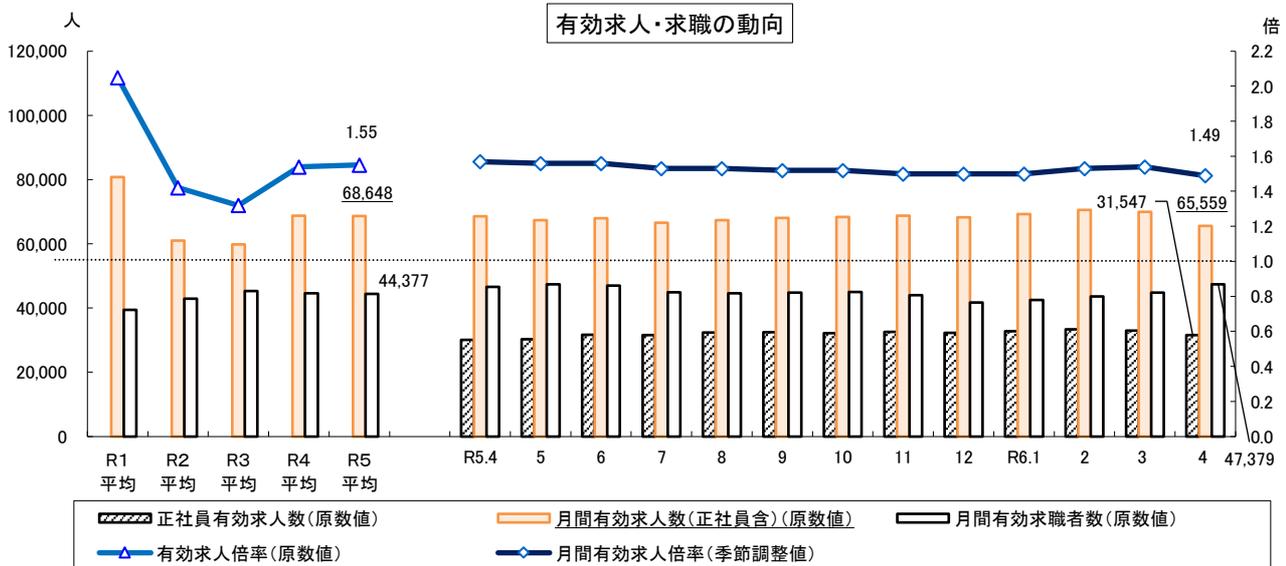
コロナ禍を脱したことで人流の回復が見込める半面、相次ぐ円安や物価高騰、人手不足への対応として企業の競争力が求められる時代であり、競争力を持たない企業については事業からの撤退を余儀なくされる可能性がある。

6 最近の雇用失業情勢（令和6年4月）

(1) 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和6年2月	令和6年3月	令和6年4月
有効求人倍率（季節調整値） （前月比）	1.53倍 （+0.03ポイント）	1.54倍 （+0.01ポイント）	1.49倍 （▲ 0.05ポイント）
正社員有効求人倍率 （前年同月比）	1.29倍 （+0.05ポイント）	1.24倍 （+0.08ポイント）	1.15倍 （+0.04ポイント）

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

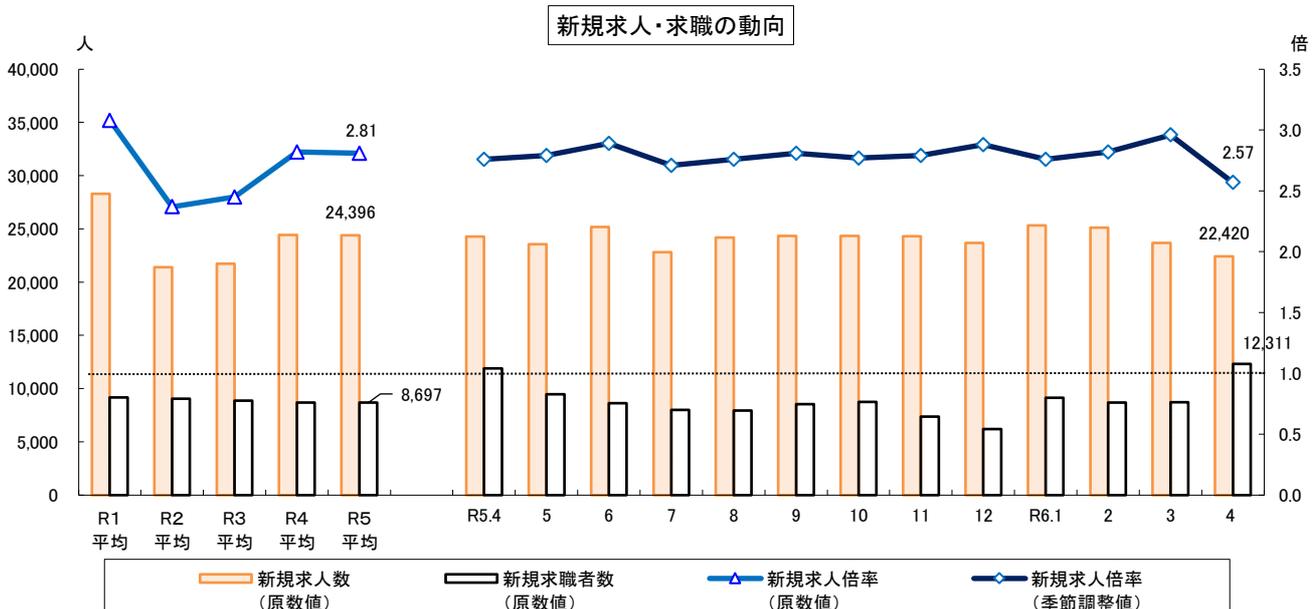
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

(2) 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和6年2月	令和6年3月	令和6年4月
新規求人倍率（季節調整値） （前月比）	2.82倍 （+0.06ポイント）	2.96倍 （+0.14ポイント）	2.57倍 （▲ 0.39ポイント）

【広島労働局】

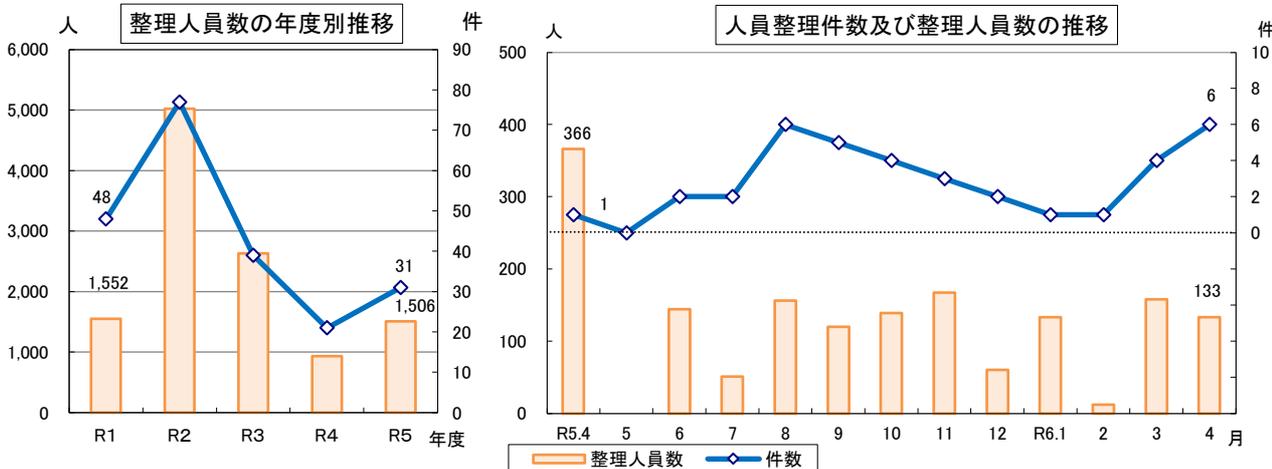


(注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和6年2月	令和6年3月	令和6年4月
件数 (前年同月比)	1件 (▲ 2件)	4件 (+ 2件)	6件 (+ 5件)
整理人員 (前年同月比)	12人 (▲ 55人)	158人 (+ 107人)	133人 (▲ 233人)

【広島労働局】

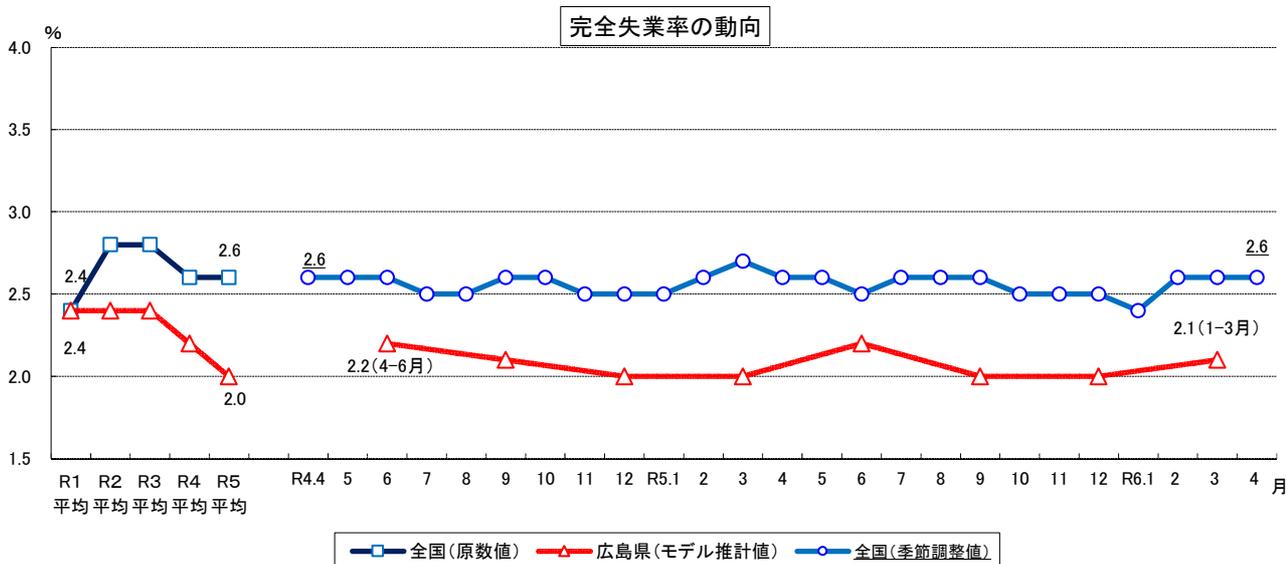


(4) 完全失業率の状況(全国・県内)

区 分	令和6年2月	令和6年3月	令和6年4月
全国完全失業者数 (前年同月比)	177万人 (+ 3万人)	185万人 (▲ 8万人)	193万人 (+ 3万人)
全国完全失業率〈季節調整値〉 (前月比)	2.6% (+0.2ポイント)	2.6% (±0.0ポイント)	2.6% (±0.0ポイント)

区 分	令和5年		令和6年
	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
広島県完全失業率 〈モデル推計値〉 (前年同期比)	2.0% (▲ 0.1ポイント)	2.0% (±0.0ポイント)	2.1% (+0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。
 ※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。